



# せいひ会だより

2011年(平成23年)

4月1日発行

<第132号>

社会福祉法人せいひ会

http://www.seihikai.jp/



## いよいよ春満開...

色とりどりの花が咲き始めました。日本の春を象徴するかのよう「さくら」が満開を迎えました。心弾む季節になりましたが、一方では新入学の時期でもあるのに学校さえ行けなくなった子供たちもいます。今回の東北関東大震災で被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。自然の力の恐ろしさは想像をはるかに超え、私たちが普段当たり前のように使用している電気やガス、水道が突然使えなくなった時の大変さ、そして、どんなに安全だと思っても絶対ではない状況、ただそんな窮地にたたされた中で、助け合いという人の心を改めて考えさせられました。今私たちがお世話させて頂いている皆様も戦後そのような時代を乗り越えてここまで日本を復興、発展させてきた皆様方がほとんどだと思います。がんばれ東北、がんばれ日本。私たちが今できることはそんなに多くはありませんが、義援金箱を設置して募金を呼びかけ、16万6758円(3/31現在)の募金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

## 3月の行事

- 3日 ひな祭り(各事業所)
- 2日・16日 書道教室(元亀・通所・丘の家・GH)
- 12日 誕生会(元亀・通所)
- 14日 陶芸教室(通所・丘の家)
- 20日 歌の発表会(風和の里)
- 下旬 お花見バスハイク(各事業所)



## 4月の行事予定

- 1日 年初式
- 1日 小規模多機能「じゅげむ」オープン
- 4日~6日 お花見バスハイク(元亀・通所・丘の家・風和)
- 6日・20日 書道教室(元亀・通所・丘の家)
- 8日 あま茶酌み(元亀・通所)
- 18日 誕生会(元亀・通所)



## ☆3月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里・岳本 千代子様にお話を伺いました。

昭和2年、大阪堺市に4人兄弟の長女として生まれる。両親は農業を営み、米や野菜を栽培していた。子供の頃から炊事・洗濯や畑に出て手伝いをしていた。「家の手伝いとかなの子の面倒もみよったけど、あんまい苦労とは思わんやっただね」とのこと。

女子高を卒業後、ゴム靴などを製造する会社に勤務し、事務や製造の仕事を6年間続けた。その後、友達と佐世保に行く機会があり、そこでたまたまご主人に出会ったそう。西彼から佐世保までミカンば運ぶ仕事ばしよったごたって、そこでピンときたら結婚しよった」そう、西彼町に嫁ぐこととなった。「九州の端っこの、まさかこが田舎に来るとは思うてもみらんやっただね」と、あまりの田舎に驚いたそう。嫁ぎ先も農業を営んでおり、野菜・米やミカンと一緒に栽培していた。その後4人の子供も儲け、商売を始めた。「おでんとかの食べ物や果物とかば売の商売ばしよった」「ぼちぼち儲かりよった」そう。

現在は元亀の里に入所されている。いつもニコニコと笑顔で過ごされており、怒ったりしたことはあるのかと尋ねてみると、「あんまい怒ったことはなかつたと思うね」怒れば気分もようなかし、自分も疲れるしね、良かことはなかつたよ」と笑顔で話されていた。「今の生活も何て言うことはなかつた、子供達は良うしてくれるし、良かばっかいよ」とのこと。リハビリには毎回来られ、編み物をしたり歩いたりされているが「歩くとの大変になってきた」そう。

これからもリハビリに励んでください。誕生日おめでとうございます。

パーソナルビュー



岳本千代子様

「Vitality Space」は、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意  
 味があり、あふれています。その活動を紹介するコーナーです。

## Vitality Space バイタリティースペース

目覚めれば  
 嫁のかげに  
 母育てしを  
 薫る水仙の

作中和子

平和なる今の世に  
 原爆の落ち後みたり  
 戦争と自然の恐ろしさ  
 永久に忘れなそ

竹下晶子

### うたの時間

卒業  
神近ツタ

元亀 神近ツタ

小鳥  
元亀 辻ヨエ

元亀 辻ヨエ

予定  
山田実

元亀 山田実

菜花  
楠本ノエ子

GH 楠本ノエ子

友人  
村山久代

通所 村山久代

春川  
増田正子

丘の家 増田正子

### グループホーム



3/13快晴の空の下、みんなでティータイムを楽しみました。ようやく「ひなたぼっこ」が楽しめる季節になりました。

### 風和の里



### 歌の発表会



3/20ユニット対抗で歌の発表会。優勝は「大黒様」を唄われた西ユニットでしたが、「大きな声」「美しい声」の個人の方にも賞状が贈られました。

### 面会時の手洗い（手指消毒）、マスク着用についてのお願い

インフルエンザやノロウイルスといった感染症の予防のために手洗い（手指消毒）やマスク着用のご協力をお願いいたします。施設では手指消毒とマスクを設置しておりますのでご利用ください。また、体調がすぐれない方のご面会はお控えください。



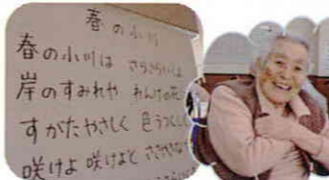
### 面会時の食品の持ち込みについてのお願い

- ・食品を持参された際は職員にお知らせ下さい。
- ・残った食品はお持ち帰りください。
- ・他の利用者や職員への”おすそわけ”は、ご遠慮ください。



## ひな祭り特集

### 元亀の里



3月3日、元亀の里の1Fでは職員が演奏するギターや大正琴の音色に合わせて利用者の方の歌声が響きました。2Fでは着物の職員が手話体操を披露し、一緒に踊りました。

### グループホーム



みんなで「手作りの桜餅」、「甘酒」、「ひなあられ」をほおばりながら、話の花を咲かせました。どうです？おいしそうでしょう？職員が手伝って着ていただいた着物での記念撮影には、少し恥ずかしそうな笑みを浮かべられていました。



### 風和の里



お雛様と一緒に「はいチーズ！」おやつには、手作りの桃カステラ（に見えるホットケーキ）をおいしくいただきました。



### 通所



通所ではひな祭りに関するクイズやゲームを楽しみました。締めはリクエストにより全員参加による「桜音頭」！ハッピーやお面ももって大いに盛り上がりました。

### ケアマネ 敏美の独り言

『花の咲かない冬の日には下へ下へと根を伸ばせ』よく聞く言葉であるが、今まさに被災にあわれている方々に送りたい言葉である。どんなに言葉を並べても、被災された方々の気持ちは計り知れない。きっと想像をはるかに超えているであろう。それでも日本国中で出来ることをみんなやってくれている。みんなの想いは1つ「復興」である。都市機能の復興ではない。被災者の方々の精神的復興である。今は先も見えないで不安であろう。1人きりになった方も数多くいるであろう。しかし、被災者の皆さん！「我々」がいます。日本国民皆がそう思っています。共に生きていきましょう。今は「下へ下へと根を伸ばして」ください。必ず近い将来「大きな花を咲かせましょう」。

